

医療・介護等分科会の今後の具体的な検討項目について

平成25年11月8日
国土交通省

1. 効率的で質の高いサービス提供体制の確立

⑦ 病床機能分化の推進

- 病床機能分化に対応するための施設改修費用、耐震化費用等、医療機関等の資金調達ニーズを充足させるためのツールとして、社会保障制度改革国民会議報告書で言及されているヘルスケアリートの更なる活用、そのための環境整備等を図ってはどうか。

国土交通省の見解

- ヘルスケア施設は、その質、量両面での充実が近年の重要な課題。
- ヘルスケアリートは、リートが資金を調達しヘルスケア施設を長期的に保有することにより、
 - 事業の運営者（オペレータ）による機動的な事業展開が可能となり、
 - 事業内容の透明性を更に高め、良質なヘルスケア施設の供給促進に役立つことに期待。
- 国土交通省では、関係省庁と連携し、本年3月に有識者会議において、ヘルスケアリートの特性や課題等を整理するとともに、その方向性について取りまとめたところ。さらに、これを受けて、業界団体においても実務者による検討委員会が設置されたところ。
- 今後は、
 - 来年6月を目途にヘルスケア施設の取得・運用に関するガイドラインの作成
 - ヘルスケアリートのメリットなどを分かりやすく説明する普及啓発等を行い、ヘルスケアリート活用に向けた環境整備を推進。
- なお、病院については、米国等諸外国との医療制度の違いや民間病院と公立病院との経営の相違等があり、慎重に検討すべきとの意見がある一方で、耐震化の促進などにヘルスケアリートも含めた不動産証券化手法の活用も考えられるため、引き続き検討。